

経営比較分析表（令和5年度決算）

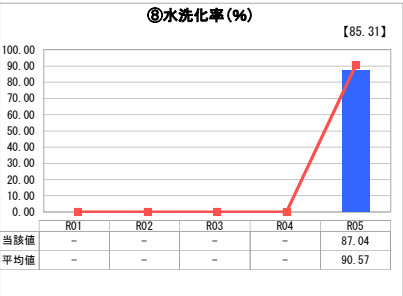
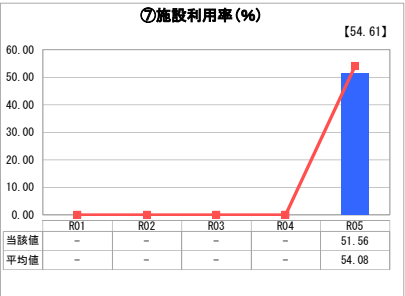
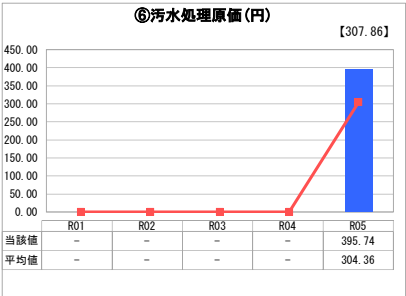
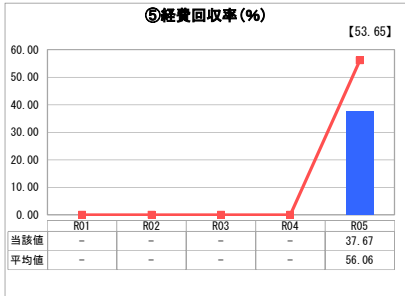
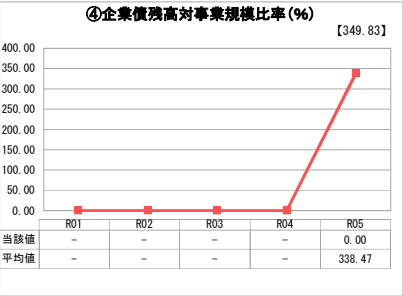
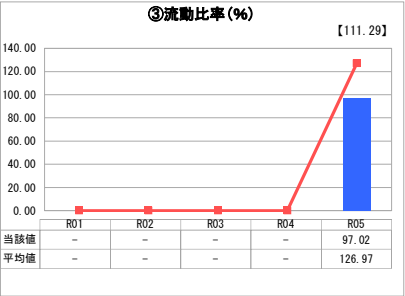
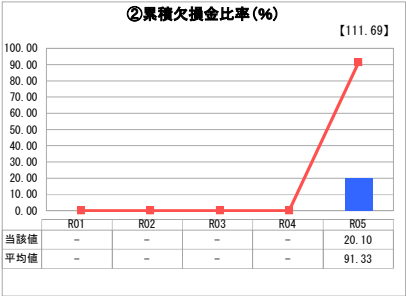
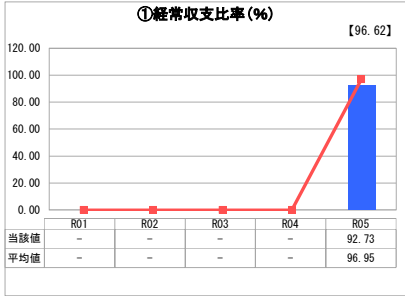
和歌山県 日高町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	60.36	12.21	100.00	3,280

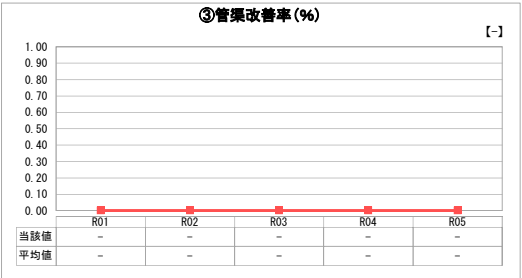
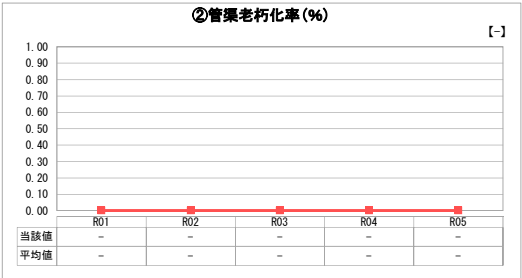
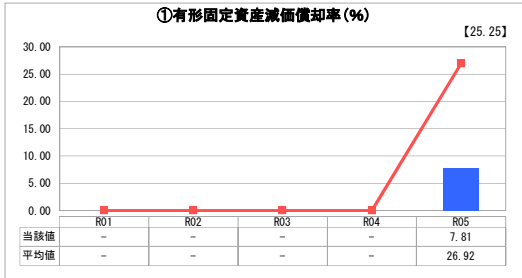
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,986	46.21	172.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
972	9.19	105.77

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

特定地域生活排水処理事業は、供用開始から15年以上経過している。
経常収支比率・経費回収率とともに類似団体平均値・全国平均を下回っており、収入の使用料金のみで賄えておらず、一般会計の繰入金に依存しているのが現状である。
また、施設利用率は類似団体平均値・全国平均より低い水準になっているが、施設規模については各家庭の状況に合わせて適切な規模になっている現状である。
今後は、接続率の向上に努めながら、営業費用の維持管理費のコスト削減により経営の健全化を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始から15年が経過した段階であり、耐用年数を超えた施設（合併浄化槽）はないが、個体差により、経年劣化（フロア、ろ材等）しており、維持修繕を随時行っている。今後、さらに維持費や更新費用が増加していくことが予想されるため、将来の費用を見込んだ経営改善が必要である。

全体総括

令和5年度から経営成績や財政状態をより評価・判断するために法適用に移行した。
浄化槽事業については、あまり新規加入が期待できないため料金収入の増加を見込めないのが現状である。そのため、収入については、大部分を一般会計からの繰入金に依存している状況である。
将来的には相当の更新費用や維持費が見込まれることから、今後は財政計画を見直し、適正な使用料収入の確保が必要になってくるため、経営戦略を策定し、経営改善を図りたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。